

1 下吉田遺跡と2 下吉田古墳群

下吉田団地が出来る前に発掘調査が行われ、縄文時代後期の集落跡(竪穴住居跡)や古墳時代の遺跡が確認されました。調査後、集落跡は団地の地下10数メートルのところに埋没し、古墳は埋戻されて今は確認できません。紀元前よりこの吉田の地には人が住んでいました。



※写真提供:北九州市

3 綿都美神社

奈良時代、天平6(734)年に海に近いこの地に海の神様、風の神様が祀られ、明治6(1873)年までは「龍王宮」と呼ばれていました。江戸時代には小倉藩の中でも5つしかない、宮司が小倉藩主に直接会える「お目見え社」の一つに指定された格式の高い神社です。境内には御神木の太楠や猿田彦大神他の神様が祀られています。



※枠外に追加説明有

領主・武藤(吉田)氏関連遺跡

中世の時代(鎌倉時代~室町時代)吉田村を支配していたのは、鎌倉幕府より派遣された武藤資頼(すけより)の子孫の吉田氏という武士でした。宅地造成時に発掘調査が行われ、その時代の集落や屋敷跡と考えられる遺跡が確認されています。

4 馬場田遺跡

平成22年に調査が行われ、建物の柱穴154個や素焼きなどの食器や調理具が見つかり、鎌倉時代~室町時代前期の集落と推定されています。



※写真提供:北九州市

5 道屋敷遺跡第4地点

令和2年に調査が行われ、居館跡、井戸、溝や居館を囲む一辺50mほどの堀が確認されました。多数の陶磁器等の食器が出土し、居館の大きさや出土品から武藤(吉田)氏の館と推定され、この辺りが吉田の中心地であったと思われます。



※写真提供:北九州市

吉田のお寺

吉田には古くは極楽寺、西光寺があったとされ、のちに本願寺・宗光寺が創建されたとあります。現存するのは本願寺と宗光寺境内に古い御堂と石碑と石仏のみです。

6 本願寺(ほんげんじ)

寛永年間(1624-1644年)に建てられた日蓮宗のお寺。法華経を信仰した戦国の名将加藤清正公像、子宝・安産の鬼子母神像が祀られています。



7 宗光寺 木造阿弥陀如来坐像

この坐像は平安時代11世紀頃に制作され、後に宗光寺(1703年創建)所蔵とされています。市の有形文化財に指定され現在はいのちのたび博物館に保管されています。お寺の境内には石碑と石仏があります。



※写真提供:北九州市

8 沼八幡神社

もともとは、吉田川の浜の宮(中吉田4丁目23付近・吉田中学校海側)にありましたが、慶安3(1650)年、沼村字市丸山に移されました。県指定無形文化財「沼楽」が毎年5月3日に奉納されます。境内に末社や珍しい狛犬などがあります。



※写真提供:北九州市

9 建速神社(たてはやじんじゃ)

下吉田2丁目12-2(字 練崎)の山上に江戸時代中期から鎮座している神社です。金山彦命、猿田彦命、須佐之男命が祀られ、地元の人に金毘羅山と呼ばれ暮らしを守ってきた神社です。遠く国東半島から豊後富士(由布岳)が一望でき、眼下には北九州空港が見えます。初日の出の絶景ポイントです。



吉田の歴史

吉田の歴史
ダイジェスト
動画はこれ!!



お寺の
エリアは
ここ!!



綿都美神社の
神様はここを
チェック!!



二市一郡新四国霊場

新四国霊場は、四国八十八ヶ所の地方版として、修行や信仰の巡礼を目的に、明治26(1893)年に、企救郡に札所が開設されたと言われています。吉田近辺の札所は次の通りです。

札
第24
番
札
所



中吉田6丁目6番
「観音堂」(今福堂)
本尊 板観世音菩薩

札
第42
番
札
所



沼南1丁目18
(新開橋たもと)
「沼南町地藏堂」
本尊 地藏菩薩

札
第87
番
札
所



下吉田2丁目11-8
「大師堂」

間島

曾根干潟の中に浮かぶ周囲1kmほどの無人島でその形から、別名「鯨島」とも言われています。「伊能忠敬測量日記」に文化7(1839)年正月に「間島一周を測(はかる)」と記されており、この地も測量したようです。また、この島から切り出した石は小倉城の石垣として使われました。



にれの木坂
ものがたりは
ここをチェック!



祠(ほこら)

祠とは神様をまつ小さな建物です。高蔵地区にはお宮がなく、地域にお宮がほしいとの願いから祠が建てられ神様がまつられました。

10 毘沙門様

民岳池(たんたけいけ)のほとりに豊作の神様でもある毘沙門様が祀られています。



11 厄神様

上吉田4丁目の点滅信号近く駐車場奥に厄除けの神様が祀られています。地域の人は結婚する時は厄神様にお詣りをして嫁入りをするなど大切にされてきました。



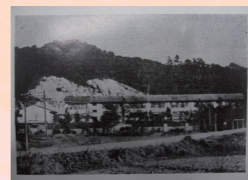
12 新田碑

下吉田2丁目(字 練崎)の田んぼの脇に吉田の新開(新田開発)について記した石碑があります。明治元年、曾根村大字吉田の新開に着手した岡野権三郎と、その後を引き継ぎ成功させた三谷吉太郎を讃えるため、明治34(1901)年11月に建設されました。新田開発は海水を堰き止め排水し土地を乾かして長い年月と苦勞により田んぼに変えてきました。



13 吉田小学校

明治7(1874)年に吉田村にえんぼう小学校(現足立小学校)分校として創立されました。その後、明治10(1877)年に現在の場所に吉田尋常小学校と名前を変えて設置された歴史ある小学校です。



14 高倉堡墨跡

下関要塞の一つとして明治33(1900)年に造られました。当時12センチカノン砲4門、15センチ臼砲8門が設置され、この時代の要塞としては、唯一周防灘に面して造られたものです。実際には使用されず後に撤去され、現在は当時の貯水施設、砲座跡、レンガ造の倉庫群が残るだけとなっています。



石碑

吉田の地には農地に水を確保するために住民が力を合わせて造ったため池が多数あります。大正~昭和にかけて記念の碑が4つ建立されました。

15 稗畑池の碑



16 山門池の碑



17 柳ヶ谷池の碑



18 二間迫池の碑



19 にれの木坂開発

平成12(2000)年より市丸山は吉田にれの木坂団地と姿を変えていきました。山を削った土はベルトコンベアーによって沼神社横から太陽の丘公園を抜け、竹馬川沿いを通り、下吉田の沖合から船に載せられ北九州空港の埋め立てに使われました。

